

文協通信

第73号

2022・1・1

(発行)高野 宗佳

(一社)町田市文化協会

(編集)倉橋幸二

題字・平野南秋

初春のご挨拶

(一社)町田市文化協会会長 高野 宗佳

令和壬寅の新年明けましておめでとうございます。



皆様には恙なくお過ごしのこととお慶び申し上げますと共に、本年も相変わりませずよろしく願い申し上げます。

昨年もコロナウイルス感染に配慮の一年でございましたが、当協会の活動は加盟団体の前向きな協力と賛助会員は

じめ財団及び町田市関係各位のお蔭様で、折に触れ精一杯努力し継続することが出来ました。とりわけて、決して平時とは言えない中で「豊かな出会いを…」の心で市民文化祭が二年ぶりに開催されました事は、今後の町田市及び地域の文化振興へ繋ぐことともなり、感慨は一入でございました。

改めましてすべてのご縁お陰様に感謝申し上げる次第でございます。

扱、文化協会が日頃お世話になっております町田市民ホールも改修工事が愈々始まっております。秋の市民文化祭は分散型にはなりますが一層の努力を惜しまずに創意工夫し、町田市に於ける市民の文化祭となります様願うところでございます。

本年は寅の歳。「虎嘯けば風生ず」と申します。この力強い気迫をもって今年こそ感染症も落ち着いて、皆様がそれぞれの文化を発信できます様心より念じます。

自己紹介を兼ねてご挨拶

町田市文化協会理事 黒崎 聡史

一昨年より総会の準備のお手伝いなど微力ながらしていましたが、昨年、文化協会理事に選任されました司法書士の黒崎です。私自身は普段文化と縁遠い人間ですが、町田市民文化祭などに出席される皆様の作品は、いつも新鮮な思いで興味深く拝見しております。

そんな私にとって希少な文化との接点といえば、幼少期の祖母との思い出です。

祖母は、女性俳人として活躍した柴田白葉女^{はくようじょ}に師事して俳句を学んでいました。芭蕉は「俳諧は三尺の童子にさせよ」と言ったそうですが、祖母も遊びの一つとして私に俳句の作り方などを教えてくれました。その経験を今に生かせていないのが残念ですが・・・

また、祖母の出身地である島根県松江市は、大名茶人として知られた七代藩主、松平治郷^{はるさと ふまい}(号は不昧)の影響から、一般家庭で気軽に茶を点てる習慣があるようです。以前テレビ番組の「秘密のケンミンSHOW」でも、島根県人の家には茶道具が常備されていて、モーニングコーヒー代わりに抹茶をのむなどと紹介されていました。さすがにコーヒー代わりというのは大袈裟かと思いますが、私も祖母の家に行って、おやつに和菓子を祖母の点てたお抹茶でいただくのを子供心に楽しみにしていました。作法とも呼べぬ作法でしたが、一服のお茶を心からおいしくいただくという点では、5歳にして茶の真髄の一端を体得していた(?)と言えるかもしれません。

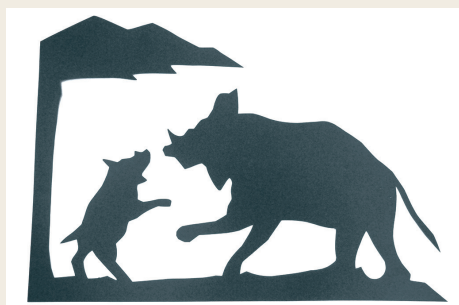
祖母は98歳となり昨年から施設にお世話になっていますが、元気に過ごしております。一刻も早くコロナ禍が収束して自由に面会できるようになることを、文化協会の本格的な活動再開とともに、心待ちにしているところです。



研修事業「江戸文化の伝統を楽しむ会」～寄席紙切りの世界～ 令和3年9月11日



高野会長のお題
「茶の湯」



黒崎理事のお子様よりお題
「恐竜トリケラトプス」

“文化の秋に相応しき” 盛況の文化祭 ————— 町田市俳句連盟会長 小林 絹子

今年の文化祭は感謝感激の連続の日々でありました。当連盟の会員も減少し、展示作品も心配して居りましたが、皆様のご協力で確りと展示することが出来、正午の開始まで有効な勉強会を行うことも出来ました。

俳句展を鑑賞に来て下さる方々は「俳句は初めて」と申しますが、否々皆様「詩心」一杯でございました。先ず短冊を前に洪々と筆をお持ちになられ乍らも、素晴らしい発想をなさるご様子は、温和な清心をお持ちと拝察し、心底愛情深く誠に嬉しく感激致しました。その中より一部感銘句をご披露させていただきます。(作句者には無断ですがお許しくださいませ)

コロナ越え 熱気あふる 文化祭 友昭

この度お世話になりましたテレビ関係者の一句です。やはりディレクター故に当日の情景を確と捉えられコロナ禍で開催できなかった無念さと笑顔まで彷彿…。

さつまいも 意外と旨し 昼の食 清久

少々心身に痛みを感じられて居られる青年でしたが、五・七・五の世界に喜びを見つけられノートに一杯でした。これから種々と書くことにより、心を癒して頂きたい。

石道の 三度の紅葉 大作戦 ○久

懸命に○ごと大作戦に取り組んで居られる即物感が表出され、一期一会を大切になさり石の上にも三年と強い意志をお持ちの作者。市民のために、さあ次の作戦は…。日常の念いをさらりと纏められ感心致しました。

人形の 師匠今亡き 文化の日 きい子

秋風に かわい微笑み 七江舞う 裕

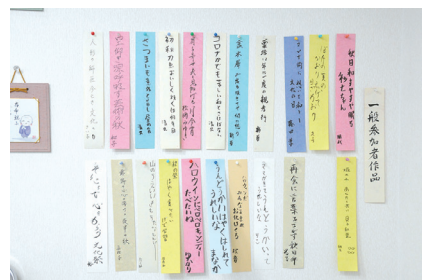
一昨年永久の旅路へ発たれてしまった川合七江様…。

人形作りに並々ならぬ情熱を注がれた恩師を偲ばれた追悼句で、故七江先生の優しさを沁みじみと詠まれて居ります。子供俳句も真剣に考えてをり佳句ばかりでした。

今回の俳句展のテーマでも有ります詩魂の絆の美しさが、俳句の世界に活発に作動し嬉しい限りです。

誠に有難うございました。

玲瓏と 輝き増せり 文化の日 絹子



第43回町田市民文化祭 秋の催し 10月6日～11日 町田市民ホール



4F ギャラリーの書道展



1階 ロビーの迎え花



ゼルビー君がお茶会に



人形美術展



つるし飾りとむかし袋展



大人気のスタンプラリー



ハワイ音楽のバンド演奏



ジャズライブコンサート



フラの集い・アロハな舞台



シャンソン&カンツォーネのタベ



ソビック音楽協会の歌謡曲と護身術のコラボ





式典(賛助会員代表井上博行様ご挨拶)



式典(高野会長挨拶)



式典会場



式典後のミニコンサート



テラスで盆踊り



陶芸といけばなのコラボ



上演予定作品の紹介(町田演劇鑑賞会)



「めぐみへの誓い」上映(映像文化研究会)



絵画展(町田市美術協会)



Jcomの取材に応じる高野会長



新聞バッグをつくろう(ワイズ)



写真展といけばなのコラボ



1F サロンでのお茶会



大漁吟じ込み(町田市吟詠連盟)



シャンソン(マ・シャンブル チャリティの会)



舞踊の集い(町田市舞踊連合会)



民謡の集い(町田市民謡協会)

コロナ対応のため町田市楽友協会と町田市囲碁連盟は文化祭参加を辞退しましたが、令和4年は参加できることを願っております。

民謡道一筋55年

町田市民謡協会会長・勝又会会主 勝又 竹時

令和3年10月26日(火) 忠生市民センター・ホールにおいて勝又会創立40周年記念発表会並びに私、勝又竹時民謡道55周年記念の会を開催しました。

コロナ禍の中、無観客でしたが、私のところへ稽古に来て頂いている民謡の方、カラオケの方としてレクダンスと舞踊(私の関係者)のみの出演で、プログラムも様々な内容で皆さん良かったと言っ
て下さり、和やかに終了する事が出来ました。

私は55年もの長い間よく続けたと思っています。その間には
はじめ・悲しみ・苦しみ・楽しいことも色々ありましたが、
理解ある会員に恵まれ皆様方の支えがあって、この会を開催
することが出来ました。



近隣4市文化団体情報交換会

令和3年11月29日(月)町田市民フォーラムにて、八王子市文化連盟、相模原市文化協会、多摩市文化団体連合、町田市文化協会の4団体による情報交換会を開催しました。活動状況、市民文化祭の運営方法、市からの支援状況、今後の課題など忌憚のない意見交換を行いました。今回初の試みでしたが、盛況裡に終わり引き続き1月28日に第2回交換会を実施予定です。



個人・団体情報

令和4年「新年賀詞交歓会」のお知らせ

恒例の新年賀詞交歓会を次の通り開催いたします。
大勢の皆様のご参加をお待ちいたします。

日 時 令和4年1月29日(土)12時より
会 場 レンブラントホテル東京町田
会 費 7000円

お申込みは各団体お取りまとめの上
1月15日までにお願いします。

町田市民文化祭“春の催し”

■第47回「町田市民美術展」

入場無料

出品(展示)作品 絵画・版画・デザイン・彫刻部門、
手芸・工芸・写真・人形部門、
書道部門、いけばな部門

展示期間 令和4年2月26日(土)～3月6日(日)
10時～17時 休館日2月28日(月)

展示場所 町田市立国際版画美術館

主 催 (一社)町田市文化協会

共 催 町田市

後 援 町田商工会議所

(一社)町田市観光コンベンション協会

町田市農業協同組合

協 力 (一財)町田市文化・国際交流財団

出品募集 令和4年1月17日まで

お問合せ先 「町田市民美術展」事務局

町田市美術協会 猪飼方

TEL070-3780-5867

町田茶道会のお茶会をご案内します。

■新春文化の祭典in鶴川2022 第9回 新春茶会

日 時 令和4年1月9日(日) 午前10時～午後3時

場 所 和光大学ボプリホール鶴川

中二階(M1) プレイルーム席 裏千家 高野宗佳

三階 エクササイズルーム席 裏千家 澤井宗陽

お茶券 二席で1500円(当日受付にて承ります) 要予約

■ 月例茶会 令和4年

2月20日(日)「広間席 山 吹」

席主:大日本茶道学会 岡田勝仙

3月20日(日)「立礼席 けやき」

席主:裏千家 薄葉宗江

場 所 プラザ町田ビル(町田市文化交流センター5階)

時 間 1回目 10:00 2回目 10:50 3回目 11:40

4回目 12:30 5回目 13:20 6回目 14:10

お茶券 1000円(当日受付にて承ります)

*ご希望の日程・時間を、電話又はメールで
お申込み下さい。お名前・住所・電話番号も
お願い致します。

申し込み先

電 話 044-988-1757(事務局)

メール machida.sado@gmail.com

皆様のお越しをお待ち申し上げます。



一般社団法人 町田市文化協会

会 長:高 野 宗 佳

住 所:〒194-0211 町田市相原町850-17

T E L: 042-779-0253

E mail: machida.bunka@gmail.com

2022町田さくらまつり 尾根緑道会場

4月2日(土)～3日(日) 開催予定